



# 小池まさあき 県議会レポート

“ふるさとちば”のための政策推進を

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 2月県議会予算委員会

**小池委員** 県は、新型コロナウイルス第6波の対応として、仁戸名のがんセンター旧病棟を1月18日に再稼働させ、昨年から開設準備を行ってきた千葉市稲毛区の臨時医療施設を2月3日から稼働し、更に2月17日には流山市で3箇所目の

**臨時医療施設稼働させた** 臨時医療施設稼働させたが、各施設の受け入れ実績はどうか。

**保健医療担当部長** 3月2日時点では、仁戸名臨時医療施設が48床に対して17人が入院。稲毛と流山は日帰り1泊の入院を受け入れて、稲毛が110床に対して述べ10人、流山が56床に対して述べ45人が利用されています。

**小池委員** 民間の旅行会社にすべての運営を任せられた稲毛と流山の稼働が低調である理由について、県はどのように考え、どう対応しているのか。



予算委員会で総括質疑を行う小池正昭県議

成田空港を核とした千葉県経済の発展に力を注いでいる小池正昭県議(成田市選出、3期)は2月定例県議会の予算委員会で総括質疑に立ち、県政の課題について熊谷知事ら県執行部に質問しました。依然として猛威を振るっている新型コロナウイルスについて、小池県議は新たに開設した臨時医療施設の利用が低調な理由を質問、成田空港関連については「成田空港を活かした持続可能な地域づくり」をどのように検討するのかと担当部長に質しました。小池県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

### 新型コロナ 新設2臨時医療施設 患者の受け入れ低調

**保健医療担当部長** 新たに設置した稲毛と流山の臨時医療施設は、開設から日が浅く、医療機関等への周知が十分でないことが稼働率に影響を及ぼしていると考えられており、現在、周辺の自治体や地区医師会に直接 Outreach

**小池委員** 知事公舎において開催された知事主催のホームパーティーに関連して質問する。熊谷知事は、議会開会中だった昨年の12月15日と16日、県内の首長や経済界の方々を知事公舎に招き入れて、料理人を仕立て食事を運び込み豪華な食事を開催したとのことだ。

12月のこの時期は、飲食店での人数制限は行われていなかったが、知事自ら県民に対して少人数での飲食を呼び掛けていた時期でもある。そこでうかがうが、知事は就任後、知事公舎への入居について、どのように判断したのか。

**知事** 私の自宅が県庁舎に近いことや、いつでも連絡がとれる体制になっているこ

くなど、臨時医療施設の活用に向けた働きかけを行っています。

**小池委員** 県内の医療提供体制を見ると、介護が必要な高齢者の入院が増加するなど、病床使用率には表れていない逼迫状況があるにもかかわらず、臨時医療施設が十分な機能を果たしていない現状があり、受け入れの周知が十分でないという理由は不適切である。介護が必要な高齢患者を受け入れる体制を構築すべきと考えるかどうか。

**保健医療担当部長** 日中と夜間との看護師の配置人数の見直し等により、一人で

も多くの高齢患者を受け入れられるように、取り組んでいます。

**小池委員** 稲毛と流山に2箇所の臨時医療施設を開設したことは評価するが、第5波までの症例を想定した投薬治療の臨時医療施設では、現在の第6波に全く対応できていないため、柔軟かつ機動的な対応に切り替えて医療現場から求められる臨時医療施設としての役割を果たすよう求める。

また、今後の状況に応じて更なる臨時医療施設の開設も検討しておくことを求める。

## 知事公舎でパーティー

## 新型コロナ禍での呼び掛けに逆行

小池委員 知事公舎において開催された知事主催のホームパーティーに関連して質問する。熊谷知事は、議会開会中だった昨年の12月15日と16日、県内の首長や経済界の方々を知事公舎に招き入れて、料理人を仕立て食事を運び込み豪華な食事を開催したとのことだ。

12月のこの時期は、飲食店での人数制限は行われていなかったが、知事自ら県民に対して少人数での飲食を呼び掛けていた時期でもある。そこでうかがうが、知事は就任後、知事公舎への入居について、どのように判断したのか。

**知事** 私の自宅が県庁舎に近いことや、いつでも連絡がとれる体制になっているこ

は、約2240万円となる見込みです。

**小池委員** 今回の2日間の入居で貸付料はいくらだったのか。

**総務部長** 12月の2日間の公費負担にかかる貸付料は2200円となっております。

**小池委員** 知事は県民から疑念を抱かれることのないよう行動を求めます。また、知事公舎と副知事公舎の適切な使用と今後の在り方を検討して欲しい。

**小池まさあき 県議事務所**

〒286-0025 成田市東町155-3 電話 0476(22)0688

E-mail : koike@ngy.3web.ne.jp

URL : http://koikemasaaki.net

小池まさあき

○経歴○

- ◆昭和41年9月 成田市生まれ
- ◆三里塚小、遠山中、千葉日大一、日本大学理工学部卒業
- ◆同大学院理工学研究科修了
- ◆平成7年4月 成田市議会議員初当選(4期連続当選)
- ◆平成21年6月 成田市議会議員
- ◆平成23年4月 県議会議員初当選(現在3期目)
- ◆現職 農林水産常任委員会委員長、議会運営委員会委員、都市計画審議会委員、千葉県農業会議常設審議委員

# 本県経済けん引の原動力に

## 機能強化後の成田空港



予算委員会副委員長として、委員長に代わり委員会を差配する小池県議

各種まちづくり計画、そしてカーボンニュートラルに向けた動き等を踏まえ、東アジアにおける航空貨物の拠点化に向けたまちづくりや、再生可能エネルギーの空港内外における積極的活用などをテーマに、検討を進めてまいります。

**小池委員** 令和4年度の「成田空港を活かした持続可能な地域づくり検討事業」においては、具体的にどのような検討を行うのか。総合企画部長 空港のマスタープランや周辺市町の

### 小池県議の主張

小池委員 成田空港は、「更なる機能強化」によってアジアにおける確固たる地位を確立しなければならない。そのためにも成田空港が技術面においても環境面においても世界最先端の空港として生まれ変わりを期待している。しかし、「更なる機能強化」が合意された四者協議会から既に4年が経過している中で、いまだに空港の将来像が全く見えてこない状況にある。

様々な歴史を乗り越えて地域が決断し、県も空港と一体的に発展する地域づくりの責任を担う決意をした立場として、「空港づくりは空港会社まかせ」、「空港は空港会社がつくるもの」という姿勢ではなく、積極的な姿勢を持って空港づくりにも関与して欲しい。知事には特に、真の「日本の玄関」をつくる、そして日本経済をリードする空港をつくる、という気概を持つとともに、地域と約束した将来への発展に関する重要な事項については定期的な四者協議会等の場で確認することなど、責任とリーダーシップを発揮していただくことを要望する。

### 真の「日本の玄関」をつくる気概を

### 農業産出額5千億円 振興計画2030年目標

**小池委員** 次期千葉県農林水産業振興計画では、農

業に関してどのような目標を掲げているのか。

**農林水産部長** 次期振興計画では、基本目標を「力強く、未来につなぐ千葉の農林水産業」とし、10年後の目指す将来像を示し、その実現に向け、取り組むこととしています。

また、数値目標として、2030年の農業産出額を5000億円に、6次産業化による年間販売金額を1000億円に設定しました。

さらに、未利用県有地の処分や効率的な資金運用など、あらゆる手段で財源確保に努めるほか、事務事業の見直しによる経費節減にも継続して取り組み、持続可能な財政構造の確立を目指してまいります。

### 空港内に部品欠落

### 再発防止の徹底を要望

**小池委員** 成田空港において、部品欠落事故が発生したが、県としてどのような認識の下、対応したのか。知事 今回の事案は、空

港内でのこととはいえ、欠落部品も大きく、一歩間違えば人命にも関わる重大なもので、誠に遺憾であり、とても看過できるものでは

原因を速やかに究明し、県に報告するとともに、今後の対策を示すよう口頭で求めたいところです。そして、14日には、文書

なにと認識しています。このため、県では、まずは国に対して、

により航空局長に対し、同趣旨の要請に加え、改めて各航空会社への徹底した指導を行うとともに、地域住民の不安を解消するため、落下物防止対策に更に万全を期すよう要請しました。

**要望** 小池委員 航空機からの落下物は、開港からこれまで、発生しては再発防止を要請する、この繰り返しで、根絶されな

い現実、この状況が続いている。飛行ルートの直下の住民は、常に大きな不安を抱いているということ県として改めて強く認識してほしい。

国において、再発防止を徹底し、住民の不安解消に努めるとともに、県は引き続きしっかりとその責任を果たして、実効性のある対策を実現するよう求める。

えてどのような空港になるのか、今まさに機能強化後

の姿を誰もが目撃している。

日本経済にも大きく貢献し、環境にも配慮した最新の鋭い空港として生まれ変わってほしいと強く願っている。

県は、「空港づくりと地域づくりは一体である」という認識を持って、地元の市町や関係機関と密接に連携し

て、様々な課題の解決に当たって欲しい。

**要望** 小池委員 引き続き安定的に財源を確保しながら、県政発展のために、必要な際は果敢に投資を行ってほしい。

### 必要な時に果敢に投資を

このため、まずは歳入の根幹である県税について、社会資本の整備などにより県内経済を活性化させるとともに、徴収対策を、強化すること、で、税収の増加を図ってまいります。

県では、高齢化の進展などによって増加する社会保障費をはじめ、公共施設等の老朽化対策や防災、減災対策など、多額の財政需要が見込まれます。

知事 今後、

小池委員 今後の財政運営をどう考えているのか。